



## ロータリーの夢を 追いつけよう

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区  
ガバナー——富山 富一  
会長——細井 増雄  
会長エレクト——長谷川 有美  
副会長——斎藤 弘文  
幹事——西山 徳厚  
副幹事——藤田 紘一  
S A A——高森 章仁  
副 S A A——五十嵐 寿一

例会日——毎週水曜日 12:30～  
例会場及び——三条市旭町2-5-10  
事務局——三条信用金庫本店  
例会場——TEL 35-3311  
事務局——TEL 35-3477  
FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 44名
先々週出席率	82.43%

### ビジター

三条南より  
若林幸哉さん  
三条北より  
梨本清一さん  
燕より  
片山 弘さん

### 先週のメイクアップ

- 1/30 会員増強セミナーへ(新潟)  
熊倉昌平さん
- 2/1 三条南へ  
古沢富雄さん、斎藤弘文さん
- 2/1 東京麴町へ  
林 光輝さん
- 2/2 三条北へ  
五十嵐総一さん、福井良英さん



## 会長挨拶

### 長谷川有美会長エレクト



今日は、会長・副会長とも金物卸工業会代表として、節分の催しで本成寺に行っておられます。代わりに私が挨拶をさせていただきます。

今年一番の降雪があったようであります。天気予報では明日まで降雪が続くよう

うです。

新潟県は広いので、降雪量は場所により随分違うのであります。津南の私の同業者に電話をしたら累積では2m30cmぐらい、今は1m50cmぐらいの積雪だそうです。堀之内では1mを越える雪でどんどん降っているようです。私共もこの雪で大変だといっておりますが、その地区と比べますと我がままをいっておられないと思っております。

節分は季節の移り変わりの節目ということだそ

うです。1年の四季の移り変わりの前日が節分で年4回ありました。ところが、近年は節分は1回、立春の前日に厄を払い、それが定着したようです。

今月1日の新聞・テレビで、東京の東急百貨店が白木屋から336年の歴史に幕を閉じたということで、1か月間の閉店セールで100億円の売上目標が156億円の売上をあげました。NHKのクローズアップ現代でも「消費者は動いた」というテーマで放映されました。その中で、消費者の心を捕らえれば、購買意欲はとにかくあるということで、ただ、その選別が非常に厳しい。消費者の心を上手に捕えれば物は売れるということです。閉店セールという、在庫処分で終るのですが、在庫どころか新規で仕入れたものも完売したということです。消費者は対価と価値を認めれば、購買意欲はまだまだあるということを感じました。特に、贅沢品といわれる宝石が前年比1か月44倍、絵画が68倍、その他、ハンドバッグや紳士コートは43倍、スーツ関係48倍、ワイシャツ30倍売れました。いかにユーザーは基本的購買力があることを痛感させられました。

いよいよ、地域振興券ということで、これがどれだけ地域の購買力の起爆剤になるか。私はその分貯金にまわるのではないかと思います。少しでも地域の活性化に繋がればと思います。

それから、皆様の手元に次年度の組織表を配ってあります。各委員会の委員長をはじめ皆様方にお世話になりますが、よろしく協力をお願いいたします。

これで、会長代理としての挨拶といたします。

## 幹事報告

西山徳厚幹事

◎高木ガバナーノミニ事務所より

1999～2000年度地区委員依頼状がとどいております。

石橋育於殿——財団奨学会増進委員会委員

## 新会員紹介

NTT三条営業所 所長 柴野俊春さん



前任地は新潟116センターです。何もわかりませんが、皆様どうぞよろしくお願いたします。

昭和23年8月18日生

家族構成：妻、一男、一女

## ニコニコBOX



小林英雄さん

ジャイアント馬場さんの訃報には驚きました。教え子に先に逝かれるのは、本当に悲しく残念です。ご冥福を祈る。

石橋育於さん

リングの王者もガンには勝てなかったのでしょうか、本当に残念でなりません。ジャイアント馬場さんの御冥福をお祈り申し上げます。

菊池 渉さん

大雪です。本日の卓話、川又さんご苦勞さまで。講題は「我が市長の作り方」かと思っておりました。

松縄 弘さん

川又さんの卓話、楽しみです。

榎本 勝さん

風邪が流行っております。風邪に負けないよう、元気に例会出席して下さいませようお願い致します。

五十嵐昭一さん

節分です。まだ雪が降り、春の到来はいま少しです。

佐藤 武さん

大雪でやっと出てまいりました。

2月3日分 ￥ 9,000

今年度累計 ￥421,000

## 卓話

### 「玉鋼と刀の作り方」



川又嘉瑞範会員

家は代々鍛冶屋でありまして、私も36歳まで現役の鍛冶屋でした。結婚した時は、体は鉄臭いとか、シャツが赤くなるとか、よく言われました。最近、鉄臭さも抜けて、生臭さばかり残っております。

刀は子供の頃から好きで、非常に魅力を感じておりました。

刀の不思議ということで、古い刀ほど軽いのです。鉄の比重があるのですから、本来は比重どおりの重量でなければならないのですが、鉄より軽いのです。今でも理由が解明されていません。

古刀を握りますと鞘から抜かなくてもすぐに分かります。それほど昔の刀には良さがあります。

皆さんも正宗とか村正の名前は分かると思います。いろいろな逸話がたくさんある刀です。正宗という刀は鎌倉時代の刀工で、今でも名匠と言われ、右に出るものがない真刀と言われています。村正は、正宗の弟子といわれ破門されました。村正の刀は妖刀視、すなわち、いろいろな災いがある刀と言われ、徳川幕府より作刀を禁止されました。正宗と村正は正反対の刀で、私は正宗は十数本、村正は7、8本を見ておりましたが、正宗は絶品の出来です。村正はそんなによい刀とは思いません。よく切れそうだなと思いますが、それほどではありません。

江戸時代になりますと虎徹という刀があります。虎徹は江戸時代前期、かぶと鍛冶として有名となり、それから刀鍛冶になりました。新選組の近藤勇の刀は虎徹といわれています。

正宗や虎徹の刀は無名が多い、私は正宗の在名の刀は2本しか見ておりません。何故、無名が多いのか謎です。ですから、正宗、虎徹は贋物が多いのです。

三条で有名な信秀という刀があります。幕末から明治初期の刀工であります。三条出身で八幡様に石碑があります。明治になってから主に神社の奉納鏡や奉納刀を作っております。信秀の鏡が八幡様にあります。信秀は謎に包まれた方で、最後は刀で自害いたしました。三条には信秀の刀が大・小・短と数本の作品があります。私は何本か見ておりましたが、たいへん素晴らしい出来です。

では、玉鋼について説明していきたいと思いま

す。

玉鋼は、現在の鉄とは製法が違い、古代の製鉄で洗鉄です。現在では、玉鋼は年に数回、刀鍛冶の為にタタラ製鉄という方法で出雲の国、島根県にて作られております。

私がこれからお話をする玉鋼作り及び刀作りは、現在、新潟県新発田市にいる刀工で、2、3年前に人間国宝になられた天田昭次さんの作り方です。

玉鋼を作る材料は砂鉄です。この砂鉄は鳥取が多い、また川から取ってくるものを材料とします。それから刀紋のことを考えて、山からの鉄鉱石も混ぜて使います。また、炭、紙、土、薪も使います。

砂鉄は、何回も磁石を使って不純物を取り除き、鉄のみにします。また、鉄鉱石はハンマーで細かく割って砂鉄に混ぜて使います。この砂鉄を溶鉱炉にて溶かす訳であります。一番下に薪、炭、和紙、土そして砂鉄を何層にも重ねて、火をつけて1300℃以上に熱し、砂鉄を溶かします。溶けた鉄が底に溜り、それが冷えるのを待って、溶鉱炉を壊し、その固まった鉄を取り出します。それが玉鋼です。この玉鋼を加工して刀を作るのであります。

刀には硬い部分と軟らかい部分があります。この玉鋼から硬い刃の部分と軟らかい中の真金という部分の2つを作り出すわけです。

玉鋼を炭火で加熱し、厚さ3mm位の鉄板に伸ばします。その鉄板を加熱し、一気に水に入れ冷やします。それを金床の上でハンマーで叩き、出来るだけ小さく割ります。ハンマーで叩いて割れる鉄が焼きの入る鋼で、割れない鉄が生鉄です。そして、その鋼鉄をさらに細かくし、鋼鉄で作ったスコップ型の受け皿に和紙に包んで入れ、その上から粘土をかけ、受け皿ごと炭火の中で加熱し、ハンマーで軽く叩きながら1つの固まった鉄に仕上げていきます。その鉄を何回折り返すか、何回、固くなる要素の炭素を入れるか、刀工の秘伝です。こうやって1本の延棒を作ります。

同じ要領で生鉄も作業をして1本の延棒を作ります。この鋼鉄と生鉄を2つ合わせたものが刀になるのです。これで折れず、まくれず、良く切れる、そして傷のつきにくい日本刀が出来るのです。

刀鍛冶によって刀の火造りが行われます。鋼鉄をどれ程鍛えるかは、刀工の腕です。また何回折り返して膚を出したり、硬度を出したり、鋼の厚さをどの位にするかは技術です。

真中に生鉄を入れ、外側から鋼鉄を包んで刀に仕上げます。刀工は刀に魂を入れるということで焼入れを行います。火造りの終わった刀を鍛冶研ぎと言いまして、中間ごろの一寸ぐらい3～5cmぐ

らい研ぐのであります。研いで刃の乱れ、地金とかを自分で確認をします。そして、それを荒研ぎいたします。刃紋を出す為に刀土という土を刀全体に塗り、刃の部分の土を刃紋の形に土を落とします。その土を乾かして焼入れをします。炭を加熱した上に刀の刃を上にして、峰を半分位熱した炭の中でゆっくり前後に動かしながら、温度を800～1000℃位にして、それを一気に水の中に刃を下に入れて焼入れをします。それを研磨し、仕上げていく訳です。研屋（とぎし）の所に持って行き、刀工より入念に打合せをして、研ぎをかけます。これで仕上がります。

最後に一つ皆さんにお話をしておくことがあります。刀は好きで持つのは良いのですが、投機で持っても絶対に儲かりません。また、自分の刀は良い刀だと思っていたら大きな間違いです。ほとんど三条には良い刀はありません。と、言いますのは重要文化財級でないも持っているかもしれないということです。包丁だと思って下さい。

何故ならば、刀工は全国で2～300人程おまして、食う為に年間10本ぐらい作ります。1年間で2～3千本も出来る訳です。それが世の中に出回る訳ですから、その中にたった1本だけが正宗賞なのです。それくらいは残しても良いのですが、他は包丁ではないかと思っております。

昔のもので、例えば下田村の方で、平家や源氏の落人の刀だと言って見てくれと言われますが、一度も良い刀に当たったことはありません。

刀は武器だった訳ですから、文化財として残るような刀は重要文化財の登録がなされておられ、一般には全くないと思って下さい。だから投機の対象にはなりません。

以上で終了です。



1999～2000年度 役員・理事・委員会組織表 (◎印は委員長・○印は副委員長)

役員	会長	長谷川有美	理事	加藤紋次郎 (職業奉仕)	直前会長	細井 増雄
	会長エレクト	齋藤 弘文 (クラブ奉仕A)		菊池 渉 (社会奉仕)		
	副会長	五十嵐昭一 (クラブ奉仕B)		清水 良一 (国際奉仕)		
	幹事	藤田 紘一		丸山 行彦 (副幹事)		
	SAA	五十嵐寿一		荻根沢隆雄 (副SAA)		
	会計	西山 徳厚		松谷 昊吉		

	S	A	A	◎五十嵐寿一	○荻根沢隆雄		
クラブ奉仕A 会長エレクト ◎齋藤 弘文 ○丸山 行彦 所属小委員長	職業分類	◎渋谷 健一 (2年)	○山本 福七 (3年)	池田 俊一 (1年)			
	会員増強	◎杉野 奎司	○渡辺 勝利	渡辺 宏策		五十嵐晋三	
	会員選考	◎吉井 俊介	○藤田 説量	鈴木 宗資			
	ロータリー情報	◎捧 賢一 (2年)	○五十嵐総一 (3年)	石橋 育於 (1年)		細井 増雄	
	役員・理事指名委員会	◎長谷川有美	○藤田 紘一	歴代会長			
クラブ奉仕B 副会長 ◎五十嵐昭一 ○小林 敬典 所属小委員長	出席	◎小林 英雄	○荻根沢隆雄	大谷 幸平			
	クラブ会報	◎山浦日出夫 中村 和彦	○早川 昭雄 高森 章仁	船越 正夫 山田 富義		長澤 正	
	親睦	◎松谷 昊吉 柴野 俊春	○丸山 行彦 橋 直樹	成澤 敏明 吉田 俊衛		小越 憲泰	
	スマイルボックス	◎佐野 勝栄	○小柳 直人	高橋 一夫		西山 徳厚	
	雑誌	◎熊倉 昌平	○川又嘉瑞範	佐藤 武			
	プログラム	◎小林 敬典	○古澤 富雄	福井 良英			
	広報	◎渋谷 正一	○岩井 数央	高波 久雄			
職業奉仕 ◎加藤紋次郎 ○五十嵐 力	クラブ資料	◎日戸 平太	○内山 辰策	小林九満太			
	ボランティア活動	◎加藤紋次郎	○五十嵐 力	広岡 豊作		松縄 弘	
社会奉仕 ◎菊池 渉 ○上木 六治	環境保全	◎菊池 渉	○佐藤 吉平	近藤 雄介		外山 雅也	
	人間尊重	◎上木 六治	○榎本 勝	林 光輝			
国際奉仕 ◎清水 良一 ○金子 俊郎	青少年交換並びにGSE	◎清水 良一	○齋藤 隆	川瀬 国雄		川瀬 康裕	
	ロータリー財団	◎外山 一郎	○峯村 征夷	滝澤 富雄			
	米山奨学	◎金子 俊郎	○野水 文治	渡辺 喜彦			
青少年奉仕 ◎小出子恵出 ○佐久間勝敏	ローターアクト並びにライラ	◎小出子恵出 (2年)	○佐久間勝敏 (3年)	樺山 仁 (1年)		高畑 昭	

## 例会案内

三条RC	2月24日例会	クラブフォーラム
	3月3日例会	会員卓話

### メイクアップをどうぞ

三条南RC	2月22日例会	クラブフォーラム
	3月1日例会	会員卓話

三条北RC	2月23日例会	クラブフォーラム
	3月2日例会	外部卓話

加茂RC	2月25日例会	会員卓話
	3月4日例会	会員卓話

燕RC	2月25日例会	夜例会 於 第一グランドホテル
	3月4日例会	会員卓話

見附RC	2月25日例会	夜例会 於 ホテルつるや
	3月4日例会	会員卓話